

ティアニー先生の診断入門 第2版

ローレンス・ティアニー 著

松村正巳 著

＜書評者＞ 平岡栄治（神戸大学医学部附属病院・総合内科）

本書の著者は、おそらくその名前を知らない内科医、研修医、学生はいないと思われるカリフォルニア大学のローレンス・ティアニー先生とそのご友人であり自身も高名な総合内科医である金沢大学の松村正巳先生である。

3部から構成されており、第1部はティアニー先生の診断哲学がまとめられている。病歴をとる際の患者観察の重要性、病歴の中には収穫の多い病歴と収穫の少ない病歴があり、それを見極めることの重要性などが具体例をもって説明されている。さらにどの本にも書かれていない診断に役立つクリニカルパールが書かれている。「多発性骨髄腫の3つのNoは

発熱なし、アルカリフォスファターゼの上昇なし、脾腫なし」といった具合である。

第2部は金沢大学で実際行われたティアニー先生とのケースカンファレンスを合計14例出され、ティアニー先生の思考過程が詳述されている。一貫していることは病歴からかなり診断が絞られることである。11のカテゴリーでもれなく鑑別疾患を挙げ、病歴が終わるころにはかなり鑑別が絞られる方法はみごとである。さらにコラムにて松村先生が身体所見や病気に関する解説をされている。ケースからその患者の診断までの過程を学ぶと同時に疾患についても学べるように構成されていて非

常に勉強になる。

第3部ではティアニー先生へ松村先生がインタビューされ、会話形式でティアニー先生の個人史やいい医者になるための読者へのアドバイスが書かれている。

ティアニー先生は皆様ご存じのとおり診断の神様と呼ばれ、米国内のみならず世界各地へケースカンファレンスをされ、“診断学”を教育されている。本書を読むとケースカンファレンスに参加したことがない人もまさしくカンファレンスに参加しているようにティアニー先生の診断学の世界に引き込まれるだろう。学生、研修医のみならず、内科医、指導医にも一読を勧める。

●A5 頁208 2011年
定価3,150円
(本体3,000円＋税5%)
[ISBN978-4-260-01440-3]
医学書院刊